

にこにこブックを使ってみよう

◎にこにこブックって何？

日々の支援や工夫を、新しい支援者や初めて接する人に伝えて子どものことを知ってもらい安全に楽しく支援してもらうためのツールです。

◎どんな時に使うの？

入園、入学、進級など新しい環境での生活が始まる時
病院の受診や相談のとき など。

◎どうやって書くの？

まずは書きやすいところ、必要などころから書いていきます。すべて書く必要はありません。支援者に知ってほしいことを「〇〇すればできます」と具体的な援助方法を書いてください。文字で伝えにくいことは、写真や絵などで書いておくと効果的です。

◎書くときに心がけること

お子さんができないことを書いても適切な支援にはつながりません。「こうするとできるよ」を基本にしましょう。

成長と共にできることも変わり、援助も変わっていきます。定期的に（半年～1年に1回）見直し、書き替えながら使ってください。定期的にチェックするとお子さんの成長を感じることもできます。

◎ページが足りなくなったときは？

市HPからダウンロードできます。こどもの発達センターでもお渡しできますのでお問い合わせください。

市HP：ホーム⇒暮らしのガイド⇒妊娠・出産・子育て
⇒こどもの発達センターにこにこ（6. 個別支援手帳「にこにこブック」の配布）

リンク先：<https://www.city.owariasahi.lg.jp/kurasi/kosodate/sien/hattatsacenter.html>

◎管理に気をつけましょう

お子さんの大切な情報がたくさん詰まっています。取り扱いには十分注意しましょう。

文字が読めるお子さんは、にこにこブックの内容も読むことができます。本人はもちろんご兄弟が見て傷ついてしまうこともあるかもしれません。管理する場所も工夫しましょう。

すくすくのびのび
尾張旭市



問い合わせ先 こどもの発達センター にこにこ

〒488-0074

尾張旭市新居町明才切 57 番地

尾張旭市保健福祉センター 3階

TEL (0561) - 53-6103